

# 秩父市地域おこし協力隊たより

2019年度4月5月号 (No. 63)



末弘将人隊員  
大滝地域振興<大滝総合支所>

TEL:0494-55-0862

MAIL:ot-chiiki@city.chichibu.lg.jp



関川亜佐子隊員・走出雪隊員

銘仙PR<商工課>

TEL:0494-25-5208

MAIL:syoko@city.chichibu.lg.jp



塩川佳恵隊員・松田あずさ隊員・山崎知彦隊員

移住推進<移住相談センター>

TEL:0494-26-7946

MAIL:ccbiju@bz04.plala.or.jp



大熊浩史隊員

自伐型林業<森づくり課>

TEL:0494-22-2369

MAIL:mori@city.chichibu.lg.jp



秩父市地域おこし協力隊の日々の活動は

Facebookページ「秩父市地域おこし協力隊」をチェック!



大滝地域振興課  
記入者: 末弘 将人

## ①「春休み自習教室」の活動報告

期間 2019年3月27日-29日(金) 9:00 - 12:00  
2019年4月2日-5日(金) 9:00 - 12:00

計 7日間

対象 大滝に住む児童 (7名)

目的 大滝に住む児童に対して、自主的に学べる環境づくりを整えること

### 児童の参加状況

実施7日間で22名の児童を受け入れた。出席率は低学年が高い傾向となった。児童は宿題や自習教材「チャレンジ」や市販で買った学習冊子を持ち込んで学習した。

### 感想

「少ない声にも耳を傾けられる存在でありたい」  
地域おこし協力隊として第一に心掛けたい姿勢だな、と改めて感じる事ができた。長期休みは市内へ・東京へと関心が集まりやすい。しかし、ここに住む子どもにとって、この大滝がよりなじみの深い地元になってもらいたいと思うばかりである。そのためにも、大滝にある「使えるのに使わない場所」を見つけて、もっと有効活用できるように・もっと遊べるように企画準備していきたい。

## ②「自習教室」の今後について

この企画「自習教室」シリーズは期間限定で行ってきたが、平日の週一回でも開けるように考えていきたい。

\*対象 小学生から高校生 \*期間 未定

## 大滝でできる「継続ある学び」へ

実施7日間で22名の児童が来たが、1日平均人数は3人になる。少ない数に見えるが、この自習教室を求めている人がいることも確かである。

「わからない」を抱える子のために、  
人とのつながりを求める子のために、  
もっと教えてほしいと思う子のために、  
ここに訪れる子ども理由はそれぞれだろう。最低限、私はここに来る子どもにとって「自分のため」と思える学習空間にしてもらいたい。そして、その思いに応えるために私も努力したい。

- 子どもの自発的に学ぶ力を育てるためにも、
- ①自ら学びたいと思えるように学習教材をそろえること
  - ②学習教材を計画的に児童へ提供すること
  - ③継続的に行うこと
- つまり、習慣的に学ぶ機会をつくること。この3つを大切に、大滝で企画準備をこれからも行っていきたい。



春休み自習教室の様子



2019年度が始まり2カ月が経ちました。協力隊活動期間も残り半年となり何ができるか考える日々を過ごしています。

今年は芝桜も綺麗に咲いてゴールデンウィークの街中は沢山の人で賑わっていました。秩父は花の名所が多く着物で散策したら楽しいだろうと思っているのですがなかなか実現せず…今年の色々と足をのばしてみたいと思っています。

銘仙に限らず着物の柄に良く使われる花に牡丹があります。ちょうど芝桜の時期に十五番札所の少林寺さんで牡丹まつりが開かれていると聞きお邪魔してきました。1輪でも迫力のある牡丹が咲き乱れていて圧巻でした。時間があればお茶も楽しめたようなので来年はゆっくり見に行きたいと思っています。



5月1日には花びらとカラーサンドで絵を描くインフィオラータが秩父神社で行われました。カーネーションの色がとても華やかで撮影スポットとしても楽しめそうでした。新しい花の名所として継続してもらえたら嬉しいですね。

銘仙を借りて着てくれる方も増えてきたので秩父の写真映えるスポットを紹介できたらと思っています。まだまだ知らない場所が沢山あるのでまずは私自身が散策マップとカメラを持って街歩きに出かけたいと思います。

これから始まるアジサイや花ハスはどんな感じなのでしょうね？紹介できるくらい詳しくなれるよう頑張りたいと思います。

まるで夏がきたような暑い日もあり着物を着るのが大変な時期になりました。暑い日は気軽に着られる浴衣を用意しつつ、単衣や薄物の秩父銘仙は気温の下がる夜のイベントを中心に着られたらと思います。虫に花火、お祭りと秩父でも着物や浴衣を着る方が増えたら嬉しいですね。



夏が過ぎれば協力隊も卒業です。形にならない事も多く残り時間の少なさに焦りも感じます。思い描いたスタートラインに立てるかどうかわかりませんが今できる事を見つけて前に進めたらと思います。



\*\*\*\*\* 銘仙PR 走出 \*\*\*\*\*

<"新" 秩父銘仙デザインコンテストの経過報告>

4/2(火)に大賞デザインの捺染作業を行いました。事前に綿の生地や糸で練習しましたが、まだまだ経験が足りないのので、当日は後継者育成講座卒業生の方々を中心に7名の方々にお手伝いいただき、職人さん指導の下作業しました。2反分なんとか1日で終わらせることができましたが、指示通り作業しても模様はずれてしまったりして、完成度の高い物を作るためには地道な努力と経験が不可欠なことを改めて感じました。また、秩父銘仙の後継者がなかなか育たないのは、技術の習得が難しいのも一因だと思いました。

<その他の活動報告>

4/15(月) 秋乃ろーざさん秩父案内

NHK ラジオ英会話に出演されている"秋乃ろーざさん"が秩父銘仙を着て秩父を訪問して下さいました。ちちぶ銘仙館や市内の工房などをご案内しました。モデルさんですので、どこで写真を撮っても絵になって素敵でした。私も写真撮影のコツを少しアドバイスいただきました。



4/16(火) スウェーデン人バイヤー 織物工房・染色工房・養蚕農家など案内

4月は外国人と接する活動が多かったので、英語を勉強する意欲が湧いてきました！

\*\*\*\*\*

## ◇◇移住相談センター◇◇

### 【着任の挨拶】

4月1日より、地域おこし協力隊として移住相談センターで活動しています。松田あずさと申します。

私が秩父と縁ができたのは、秩父出身の主人と出会ったことです。昨年、秩父神社で結婚式を挙げることもできこの地に住んでみたいという思いが生まれました。秩父に住むのであれば、地域に貢献できる仕事がしたいと思い地域おこし協力隊という仕事を選びました。

着任して一か月が経ちましたが、秩父という街の魅力は『人』なのではないかと日々感じています。

住んでいる方、それぞれにこの地を選んだ物語があるように思うのです。秩父には「どんな人がいるんだろう？」「どんな仕事があるのかな？」私自身が移住を考えた際に頭に浮かんだことを、これから秩父に移り住む方々にお伝えできればいいと思います。カメラマンという経験を活かして、秩父の『人』の魅力を発信していきたいです！！

よろしくお願ひいたします。

アカウント名を検索！

移住相談センターinstagram始めました！  
フォローお願いします！！

sugusoko\_chichibu

出身地 \* 千葉県市原市

職歴 \* 介護職  
ホテルレストランサービス  
カメラマン

居住歴 \* 千葉県  
沖縄県(石垣市)  
東京都→神奈川県



### 【退任のあいさつ】

こんにちは。移住推進担当の塩川です。2年とちょっと地域おこし協力隊として活動させていただきましたが、このたび2019年5月末日を以て、地域おこし協力隊を退任させていただきましたことになりました。

協力隊として活動していて、ずっと疑問に思っていたことがありました。「地域おこし」とは何か？ということです。地域おこし協力隊として市からミッションが与えられていましたが、そもそも「地域」とは何で、「おこす」とは一体何なのか、模索し続けた2年間だったと思います。

そのなかで、地域って言葉はよく言われる「鳥の目線」なのだと思います。上から見下ろしている目線です。上から眺めてみて、「あ、あそこ元気そうだな」って見えるところがおこされた地域なのだと思います。

でも、実際は足を動かし手を動かし、その土地で(私を含め)みんな暮らしています。「地域おこし」とは結果でしかないんだと思います。ではその結果をどうやって生み出すのか。

そう考えたとき、結局はそこにいる人たちが元気に暮らしてればそれでいいのではないかと思います。集団で見るのではなく、大切なのは一人ひとりで、その積み重ねが結果になるのだと思います。活動していて、そのように一人ひとりに働きかけるようにできればいいなと思うようになりました。

結婚し退任することになりましたが、この2年間ですべて模索していた人生の指針を自分なりに定めることができ、とても貴重な2年間だったと思います。たくさんの人にお会いして協力していただいて、とてもうれしく、また同時に寂しく思います。秩父から引っ越すことになりましたが、今後も秩父には関わりながら色々取り組んでいきたいと思っています。有難うございました。(塩川)



# 自伐型林業担当 大熊浩史の活動報告

こんにちは、自伐型林業担当の大熊です。

4月に新しく林業振興担当の地域おこし協力隊として配属された長尾 貴道さんと6月からふたりで手入れが行き届いていなかった荒川市有林の間伐作業を行うことになりました。

今回の施業の目的ですが、  
林業を始めたばかりのふたりが実際に施業をする場合、  
『搬出した材でいくら儲けが見込めるのか？』  
『請負の場合、どれぐらいの収益が見込めるか？』



ということから、自分たちが実際に林業で生活できるのかを計算していきたくて考えています。  
また、小さな負担で自然にやさしく持続可能なコンパクト林業のモデル林として新たな林業の担い手や地元の方々の手本となる森林にしていきたいです。

ですが、今回の施業だけに関わらず、秩父で、しかも元よそ者のふたりで「林業という職業が成り立つ」かどうか、ちょっぴり不安でもあります。  
だけど、、やる気、元気でこの状況をどうにかせねば……  
解らないところはアドバイザーや先輩たちに相談しながらの施業ですが、がんばりますっ！！

# 自伐型林業担当 長尾貴道の活動報告

こんにちは、2019年4月1日より地域おこし協力隊(林業振興)として採用されました、長尾 貴道と申します。以下、自己紹介を兼ねて経歴などについて記載します。

## ● 経歴

就職するまではずっと熊本県にいました。大学での専攻は工学科で、流体力学の研究室におり、交通渋滞を対象とした研究をおこなっていました。(車をマクロにみたときの動きを流体とみなして、渋滞現象を圧縮性流体として説明できないか、といったことがテーマでした)

就職を機に上京し、都内でIT系の会社でサーバやネットワーク機器といったインフラ系の構築、運用、保守をおこなっていました。内容のキーワードとしては、Linux、ルーティング、帯域制御、小規模なスクリプト作成、等です。(もしお手伝いできることがあれば、お話し伺います！)

## ● 転職の経緯

ここ最近のIT業界は、少子化による人手不足、働き方改革の過渡期である状況によるダブルパンチで、私のような中堅どころやベテランの負荷が非常に高くなっています。私自身も、俗に言うところの過労死ラインと呼ばれる残業80時間を超える状況が長く続き、このままだと稼ぎはよいけれどもいずれ体が潰れてしまう、という状況でした。

一方で、自然の中での仕事をしたい欲求を以前からもっていました。案件の切れ目であったタイミングも重なり、思い切って地域おこし協力隊への転職を決意しました。

## ● なぜ秩父だったのか

正直に言えば、募集要項で年齢制限の記載がなかったことと、当時住んでいた場所に一番近かったこと、が理由でした(他の募集地域は奈良県や高知県などでした)。現在、手厚い支援をいただきながら林業を学んでおり、秩父で良かったと切に感じています。

## ● やりたいこと

生業としての自伐型林業の実現を目指しています。経歴の通りベースの知識がないため覚えることが非常に多く苦勞しておりますが、林業の施業を通じて秩父地域に貢献できればと思います。